

# こんにちは★『くじらの会』です！

ここは、星槎学園高等部横浜ポートサイド校を卒業した子どもを持つ、  
卒親の会『くじらの会』の会員の皆様に情報を発信するページです！

『くじらの会』は、子どもが卒業しても、尽きることなく続いていく  
子育ての悩みを相談したり、色々な情報を交換したり、また、在校生の  
親の会とも連携を持ちながら、同じ学び舎を卒業した子どもを持つ保護  
者が集い、心和む時間を過ごせる場となっています。

## 令和5年度 『くじらの会』 行事予定

R5年8月7日

- 6月 10日 (土) 総会
- 10日 (土) くじらヨガ教室①
- 16日 (金) 第4回星槎全国親の会代表幹事会
- 17日 (土) 第16回星槎全国三会合同総会
- 9月 9日 (土) くじらヨガ教室②
- 10月 14日 (土) くじらヨガ教室③
- 日程未定 講習会
- 11月 4日 (土) くじらヨガ教室④
- 18日 (土) 19日 (日) YPS 文化祭 (制服リサイクルお手伝い参加)
- 1月 13日 (土) くじらヨガ教室⑤
- 3月 9日 (土) くじらヨガ教室⑥
- 23日 (土) 星槎全国保護者研修交流会 (会場：未定)

※新型コロナウイルス感染防止対策のため中止となる場合があります。

各行事の詳細は随時お知らせします！

参加希望の方はくじらの会アドレス (または各期連絡係) までご連絡ください

皆様のご参加をお待ちしております♪

# おしゃべいくじら

## くじらの会総会・茶話会

5月28日に3年ぶりに対面での総会と茶話会を開催しました。

コロナ禍での2年は特別措置として新旧役員のみオンラインでの開催でしたが、今年度は対面ということで、役員・一般会員の他に望月校長先生、西川副校長先生にもご出席いただきました。審議は滞りなく終了し、全て承認を得られました。

総会後の茶話会では、みんな笑顔で楽しく近況報告などしていました。くじらの会は在親とは違い、卒業したての会員の方もいれば、数年前に卒業した方など幅広い年代の方がいます。在学中の懐かしい話に花が咲くのももちろんですが、卒業後の様子など、様々な年代のお話が聞けるのも魅力だな、と改めて実感しました。

## HSP 講習会・ランチ会

令和4年度の講習会第一弾！ その名も「HSP 講習会」！！  
昨年度、かもめの会主催で行ったHPS講習会が大変好評で、ぜひくじらの会でも講習会を…ということで、12期・16期保護者でもある相澤由佳里先生を講師にお迎えして、対面とオンラインで行われました。講習会の前には、相澤先生が運営に携わっている『かけカフェ(母体：一般社団法人かけはし)』でランチ会も開催しました。  
まずは美味しいランチをいただきながら歓談。時間になったところでオンラインも繋ぎ、講習会開始！Zoom がうまく繋がらないトラブルもありましたが、何とか終了することができました。



## くじらヨガ教室

今年度からくじらの会主催の「くじらヨガ教室」がスタートしました！講師は7期保護者でもある福井久美先生！  
第2校舎で年6回の開催でしたが、くじらの会会員だけでなく、先生や生徒にも参加していただき、心と身体をリフレッシュすることができました♪  
今年度は実現しませんでした、お天気が良ければ第2校舎の屋上でヨガをすることもできるかも!?

## 文化祭お手伝い ~制服リサイクル~

今年度も文化祭での制服リサイクルのお手伝いに参加しました！  
昨年、一昨年はコロナ禍でお店番1人というちょっと過酷なお手伝いでしたが、今年度はお店番2名OK！第一校舎で他のお店と同じお部屋…文化祭らしさを満喫することが出来ました♪  
制服も何着か売れ…文化祭での制服リサイクルが少しずつ定着してきているかなという印象です。  
在校生の保護者であり卒業生の保護者でもある方が顔を出してくださり、卒業後の嬉しいお話を伺えたのも、とってもとっても嬉しかったです！！



## ガーデニング講習会

講習会第二弾！！

6期保護者の小塚美左先生を講師にお迎えして、「ガーデニング講習会」を開催しました。小塚先生のガーデニングはかもめの会で講習会をお願いしたことがあります。その時に参加された方もいることをお伝えしていたので…  
今回の講習会では寄せ植えの鉢がブリキ製と少し難易度の高いワイヤーフレームの2種類をご用意していただきました。

土をいじるって、とてもリラックス効果がありますね♪  
みんなステキな作品を作ることができました。



## 全国保護者研修交流会

3月25日に星槎全国親の会の研修交流会へ参加してきました♪

まずは全国の星槎とオンラインで繋がり、講師のオリンピックメダリスト 末續慎吾さんのお話を伺いました。(お話の詳細は裏面)  
全国での研修の後は、ブロックでの交流会です。今年は4年ぶりに対面での交流が実現しました。コロナ禍前よりは規模はまだまだ小さく、鴨居GCと北斗校の3校での交流でしたが、リアルでの交流は、小さな会話が至る所で生まれ、大変実りあるものでした。どの校舎も、継続していた行事や波に乗せようとしていたプロジェクトが、コロナで途絶えたりうやむやになったり、会員同士や卒親と在親同士の交流に苦労しているようでした。それでも今年度は工夫して少しずつ活動を広げていたようでした。

## 末續慎吾さん のお話

### Q. なぜ星様に？

20～28 歳、アジアで一度も負けたことが無かった。

所属していた企業を出るタイミングで宮澤会長に初めて会った時の会話

宮澤会長「お前は何がしたいんだ？」

末續さん「走りたいです。」

宮澤会長「なら、走れ。」

こんなにストレートにわかりやすく物事を伝える人に初めて出会った。

### Q. なぜ走っているのか？(陸上を始めて続けている理由のような問い)

実家が床屋だった。両親がハサミを持って働いている緊張感のある空間(職場)と感じていて、両親の笑った顔をあまり見たことが無かった。走って一等になって帰ってくると笑ってくれた。自分が速く走ると誰かが笑顔になることを知った。陸上の入口だったと思う。

子どもは親のために子どもなりに何かしたいと思っている。でもその子どもの心を親はなかなかわからない。

子どもの頃、人の目を見て話せなかったり、人見知りで友だちが居なかったりしてさみしかった。誰かと一緒に走る事が楽しかった。勝って当たり前になってくると、「怪物」とか「レジェンド」とか呼ばれるようにもなり、星様の理念のような事は全くピンと来なくなっていた時期があった。

勝敗に生きる人間としては、誰かの夢を奪う事にもなる。誰かの人生を変えてしまう事もある。抜きん出れば嫌なことをされたりいじめのような事をされたりもあった。勝敗の世界に居て、周りの全てから剣先を向けられているような気持ちになっていたこともある。友達がほしくて走っていたはずなのに。

誰かと一緒に走りたかった。笑顔が見たかっただけ。

アジアで勝ち続けていた頃のメダルやトロフィーは誇りになっていない。

誇りになったと感じているのは、日本の代表として出場し、日本人ですごいという賞賛を浴びて、日本のみんなが喜んでくれた事。

一人だけでうれしいことなんてなかった。

勝ち続けていた頃、星様の理念のようなものが全くピンと来ていなかったが、星様で走るようになり、対話の中で少しずつ変わっていった。

今 42 歳で現役。星様という空間に救われた。そうでなかったら 42 歳まで走っていなかったと思う。

身体が動く限りは挑戦を続けたい。

### Q. 今、何をしている？

- ・湘南で走る事を教えている
- ・大磯で、スポーツが教育にどう影響するか？研究？
- ・神奈川県で、アスリートが企業(社会)に何が出来るか、企業はアスリートをどう生かせるか？研究？
- ・熊本キャンパスでも何かやる

子ども達に、自信を持ってとは月並みに言えないけど、希望は持って良いと思う。



### Q. 親の会へのメッセージ

前回のパリ五輪でメダルを取った。

もう一度パリで…という気持ちがある。

楽しみにしてください！

ちょっとイカレタ夢を目指している。

わくわくしてほしい。

現 100 メートルタイム 10 秒7は、  
40 歳代の日本記録！！